

日本初！相談支援事業のみで社福化



東京都荒川区において日本初、相談支援事業のみの社会福祉法人ソラティオを設立。相談支援事業の独立経営や社会福祉法人化は困難といわれる中、ピアスタッフの複数正規雇用や黒字化も含めて理事長の岡部正文はすべてをクリアしました。すでに次を見据えて経営マネジメントシステムの確立と人材育成システムの構築に取り組んでいます。

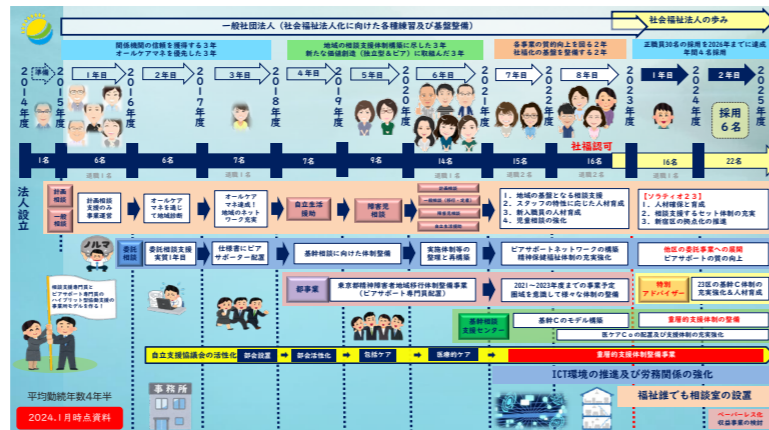
ソラティオの歴史

理念・展開

ソラティオは2014年より法人理念を「すべての人に安心を」と定め、相談支援事業のみで経営を行ってきました。相談支援事業のみで独立経営できること、ピアスタッフと協働した相談支援の有効性を実証することをミッションとして取り組み、2022年に社会福祉法人の認可を受けました。2024年時点で職員19名（内、ピア3名）が在籍しています。

展望

中期ビジョン（2024～2026年）では、所轄を荒川区から東京都へ移管すべく、相談支援事業の23区の面的整備を掲げました。また、社会福祉法人として地域の潜在力を発掘すべく、公益事業の拡大と経営マネジメントシステムおよび人材育成システムの開発を重点目標としています。



ソラティオの歴史

ソラティオの事業

相談支援系の事業をフルセット

ソラティオは、特定相談支援事業、一般相談支援事業、障害児相談支援事業、自立生活援助事業を本体事業とするほか、荒川区障害者基幹相談支援事業（受託）、荒川区精神障害者相談支援事業（受託）を展開、乳幼児から大人まで切れ目のない相談支援を提供しています。また、地域生活支援拠点等の指定も受け、24時間365日の障害児者およびご家族の暮らしの安心を支えています。



社会福祉法人ソラティオ設立記念式典(2023年3月21日)



相談支援のリーディングカンパニーを目指す

ピアスタッフとの協働モデル

理事長の岡部は総合病院や精神科病院を10年経験した後、相談支援事業所で9年間従事し、42歳で独立しました。独立した理由の一つに、ピアスタッフと相談支援専門員の協働を実践することで、質の高い相談支援につながることを証明したいという思いがありました。その実践に制度が追い付き、令和3年度の報酬改定でピアサポート体制加算が創設されました。相談支援専門員の課題解決型支援とピアスタッフの伴走型支援の両輪が協働の肝といえます。

人材の採用→定着→育成システム

人材の採用から育成は片手間ではできないので、ソラティオでは理事長と一緒に人材戦略を練り実行していく専門職を雇用しています。スタッフを当法人のファンにするインナーブランディングを大事にしながら試行錯誤を繰り返してきました。役割等級制度や目標管理シートなども活用して個々のポテンシャルを最大限に高め、研修講師などの立場を与えながら人に教えることを通じてスタッフの育成を図っています。「立場が人を育てる」を信念として、これからは人材育成に取り組んでいきます。

さまざまな経験を持つスタッフたち

ソラティオにはさまざまな得意分野を持つ相談支援専門員が所属しています。8名の主任相談支援専門員をはじめとして、精神保健福祉士資格はもちろんのこと、医療的ケアや重症心身の経験を持つスタッフ、障害児を得意とするスタッフ、看護師、公認心理師、視覚障害者歩行訓練士、養護教諭経験者、大学病院経験者など枚挙にいとがありません。そんなスタッフ同士が経験を共有しながら、学び合い、補い合う「ナレッジシステム」が、ソラティオにはあります。

ICT化の推進

事業を円滑に進めるためには人は最も重要な財産ですが、その人材が効率的・効果的に業務を遂行するためにはソフトの充実も欠かせません。社会福祉法人化に合わせてデータの全クラウド化を図り、どこにいても仕事ができる環境を整えたほか、法人内のコミュニケーションもMicrosoft Teamsを導入し気軽にメッセージをやり取りしたり、オンラインミーティングを行ったりしています。導入により仕事のスピードは格段に向上しました。



基幹相談支援センターで開催した初任者の会



毎月どこかで事例検討会が開催されるようになりました



ピアスタッフ協働事例検討会(参加者の半数以上がピアスタッフ)

Message 新たな取り組みをし続けるソラティオ……

相談職として独立するなんて思ってもみなかった20代。少しずつ制度が整い独立の可能性が見えてきた30代。40代で独立し8年かけて社会福祉法人化を実現することができました。相談支援の「安い、キツイ、大変」というイメージを「希望あり」「給与高く」「休暇あり」の3Kに切替中です。相談支援は箱ものを持ちたり維持する必要がないので収益を人材に投資できることが魅力です。50代の今、スピード、情報、効率化を大事にしながら法人経営というマネジメントに全力を注いでいます。今までにない社会福祉法人経営を創出していきたくと思っています。社会人になっただけで走りっぱなしな毎日です。



社会福祉法人ソラティオ 理事長 岡部 正文

Message ピアスタッフとの協働？一緒に仕事をするのが当たり前！

障害当事者自身が支え手となる文化を創りたい！障害当事者が活躍できる共生社会を創りたい！その実現のためにソラティオは、2014年の開設当初からピアスタッフを正社員として雇用しています。最初はなかなか大変でしたが、「ピアスタッフの〇〇さん」という見方から、「〇〇さんはピアとしての専門性がある」という見方に変えてから協働しやすくなりました。当たり前のことですが、専門性より先に「ひとりの人」がいるということです。同じ職場で働く仲間同士なので、最近では協働という言葉に違和感さえ覚えています。ピアサポートはまだ進化途中です。



社会福祉法人ソラティオ 小阪 和誠(左) 鎌田 信行(中央) 青木 清剛(右)